

Mr. Bassman (ベースマン列伝) vol.76

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変……。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Malachi Favors【マラカイ・フェイヴァース】

Profile



Photo: <https://www.malachifavors.com/>

Special thanks to Malba F. Allen, Kevin Beauchamp.

1927年8月22日、米国ミシシッピ州レキシントン生まれ。牧師だった父親のもと宗教的な環境で育つ。シカゴに移住後、15歳の時にコントラバスを弾き始め、エレキ・ベースやパンジョー、ツッター、ゴングなどの楽器も演奏。ハイスクール卒業後プロに転向。ウルバー・ウェアに師事する。初期はハード・バップを演奏し、ディジー・ガレスピー等と共演。その後、エクスペリメンタル・バンドのメンバーとなる。53年に初レコーディングを行う。65年に組織されたAACM(創造的音楽家振興協会)を母体として、68年に結成されたアート・アンサンブル・オブ・シカゴのメンバーとして頭角を現す。その他、アンドリュース・ヒル、アーチャー・シェップ等と共演。ある時期より、自身の名に「Maghostut(マゴスタット)」という言葉を加え、「Malachi Favors Maghostut」と名乗り始める。74年にアート・アンサンブル・オブ・シカゴのメンバーとして来日を果た果たし、84年に再来日する。80年代には、アーメド・アブドゥラやデニス・ゴンザレスと共演。94年にベリン・ジャズ・フェスティヴァルでウッド奏者のローマン・ブンカと共演。98年には、米国シカゴ在住の日本人ベーシスト、タツ青木(青木達幸)とデュオ作品を発表。2004年1月30日、臓器がんにより米国イリノイ州シカゴで息を引き取る。享年76歳。

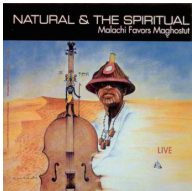
フリー・ジャズ界で名を馳せたスピリチュアルな名ベースマン

名ジャズ・ベーシスト、ウルバー・ウェアに師事したマラカイ・フェイヴァース。その存在は約40年間に渡り、最長メンバーとして活躍したアート・アンサンブル・オブ・シカゴでの活動が印象深い。正確なビッチと凄まじいグルーヴを持つベースマンであるだけでなく、民族衣装を纏ってアフリカの部族のように顔にペインティングを施し、時に不気味とも言えるビッチカートによるインプロヴィゼーションや幻想的なアルコで倍音を奏で、印象的なリフを繰り返すベースプレイは唯一無二。自身の音楽やプレイにスピリチュアルな一面を垣間見せたのは、牧師だった父親の影響で、幼少期に教会音楽以外のものはタブーであるという信念を持つ宗教的な環境で育ったことも要因だろう。

1974年11月にアート・アンサンブル・オブ・シカゴのメンバーとして初来日を果たし、1984年に再来日も果たしているが、日本人アーティストとの接点といえば、1998年にシカゴ在住の日本人ベーシスト、タツ青木(青木達幸)とデュオ作品『2x4』をリリースしている。

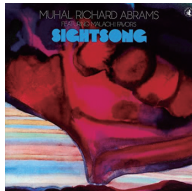
MF's Great Albums

1枚のリーダー・アルバム他、デュオやトリオ名義でのリーダー・アルバムも残しており、アート・アンサンブル・オブ・シカゴとしては40作品以上に参加している。



**ナチュラル&ザ・スピリチュアル
マラカイ・フェイヴァース**
(AECO Records [Import CD])

マラカイ・フェイヴァース唯一の単独名義のリーダー・アルバム。1977年4月23日にシカゴ大学でライヴレコーディングされた全8曲を収録。



サイトソング

Malachi Favors Maghostut & Malachi Favors
(Southport Records [Import CD])

ブラック・セイントから発表されたムハル・リチャード・エイブラムス(p)とマラカイ・フェイヴァースのデュオ作品。1975年録音。全7曲収録。



**2x4
マラカイ・フェイヴァース/青木達幸**
(Southport Records [Import CD])

マラカイ・フェイヴァースと米国シカゴ在住の日本人ベーシスト、タツ青木(青木達幸)とのベース・デュオ作品。1998年録音。全9曲収録。



**ライブ・アット・ラスト
マゴスタット・トリオ**

(RogueArt Records [Import CD])

マラカイとハンナン・ジョン・テイラー(sax)、ヴィンセント・デイヴィス(ds)によるマゴスタット・トリオ名義で2006年にリリースされたライブ盤。